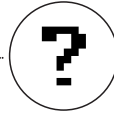


## Frequently Asked Question



いまだ聞けない



いまだから聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「?」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。

ご質問はこちらまで  
im-faq@impress.co.jp

今月のポイント

# 1 日本語ドメイン名とは 2 スパイウェア・アドウェアとその対策



日本語のドメイン名があるらしいのですが、私は英語のしか使ったことがありません。どうすれば使えるようになりますか?(東京都 Saizoさん)



これまで、ドメイン名に使用できる文字は英数字とハイフン(-)の37文字のみと決められていました。しかし、インターネットの広がり利用者層の拡大、そしてドメイン名の利用方法の変化にともない、非英語圏の人たちから、母国語の文字も使いたいという要求が高まりました。その要求を受け、インターネットで使われるプロトコルの標準化を行っているIETF [URL01](#) という組織で、ドメイン名を国際化する、つまりドメイン名に英数字とハイフン以外の文字も使えるようにするための作業が行われました。その標準のことを国際化ドメイン名(Internationalized Domain Name; IDN)といい、まもなくRFCとして発行されます。

日本語ドメイン名とは、IDNの技術に基づいて、日本語で使われる文字、つまり仮名や漢字を使って表されるドメイン名のことです。日本語で使われる文字といっても定義が曖昧なので、ここでは日

本語ドメイン名とは、ドメイン名の登録業者の規則に従ったサービスであると定義します。たとえば、JPドメイン名の登録を行っているJPRSでは、日本語ドメイン名に使えるのはひらがな、カタカナ、漢字(JIS第一/第二水準)と一部の記号(・-ゝゞ、々)と決められています [URL02](#)。

IDNの標準では、IDNはアプリケーションで処理されなければならないと決められています。利用者のインターフェイスではIDNは日本語で入力したり表示されたりしますが、ネットワーク上では英数字に変換された形(ASCII Compatible Encoding; ACE)で扱われるためです。したがって、日本語ドメイン名を利用するには、IDNに対応したアプリケーションが必要になります。すでに対応が開始さ

れていて、MSIEなど既存のブラウザでもプラグインを追加することで日本語ドメイン名のウェブサイトが参照できるようになっています [URL03](#)。

日本語ドメイン名は、すでにJPドメイン名では5万件以上、COM/NETドメイン名では20万件以上が登録されています。総務省のホームページに「<http://総務省.jp/>」でアクセスできるようになったと話題になりましたが、今後、積極的に利用されるようになることが見込まれます。(JPNIC IDN-TF米谷嘉朗)

[URL01](http://www.ietf.org/) http://www.ietf.org/

[URL02](http://jprs.jp/doc/rule/saisoku-1-wideusejp.html) http://jprs.jp/doc/rule/saisoku-1-wideusejp.html

[URL03](http://www.jdna.jp/activities/survey/browsers/) http://www.jdna.jp/activities/survey/browsers/

日本語ドメイン名はもう始まっている  
IEでもプラグインで今すぐ使える



Q

「スパイウェア」や「アドウェア」というものがあると知り、不安になりました。これはウイルスとは違うのでしょうか。どうすればチェックできますか。(東京都 鴉さん)

A

データを破壊したり感染したりするウイルスはよく知られていることもあり、ウイルス対策ソフトを使っている人も多いのではないのでしょうか。しかしウイルス以外にも、ユーザーが気づかないうちにさまざまなことをするプログラムがあります。

スパイウェア:システム情報、ユーザーの個人データ、ウェブ閲覧の履歴などを収集して、ユーザーのインターネット接続を使って送信するプログラム。

アドウェア:自動的に広告を表示するプログラム。スパイウェアのように情報を収集するプログラムもある。

これらのプログラムは、フリーソフトをインストールすると自動的にインストールされてしまう場合があります。ユーザーから明示的に許可を得ずに情報を漏洩したりネットワークを使ったりするという点で問題があるのですが、ウイルス対策プログラムではひっかかりません。

これらの問題のあるプログラムがインストールされていないかを調べるには、Ad-aware [URL04](http://www.lavasoft.de/) や PestPatrol [URL05](http://www.pestpatrol.jp/) のようなプログラムを使います。Ad-awareはアドウェア対策プログラムでPersonal版は非商用であれば無償で使えます。PestPatrolはクラックツールなど多くの迷惑プログラムに対応している商用ソフトです。どちらもウイルス対策プログラム

## スパイウェアなら要注意 まずはツールでチェックを

を使ったことがある人なら簡単に使えるでしょう。

ここではAd-awareを例にとってチェックと対処の方法を解説します。

1. まずダウンロードページからAd-awareをダウンロードします [URL04](http://www.lavasoft.de/)。
2. インストールしてプログラムを実行したら、まず右上の地球儀アイコンをクリックし、表示されるウィンドウで [ Connect ] ボタンを押して最新の定義ファイルをダウンロードします。ダウンロードが終わったら [ Finish ] ボタンを押します (図1)。
3. 右下の [ Start ] ボタンを押し、 [ Next ] ボタンを押すとスキャンが始まります。
4. スキャンが終わると右下のボタンが

[ Next ] になるので、クリックします。見つかったアドウェアなどが表示されるので、削除したい項目のチェックボックスをクリックしてチェックし、 [ Next ] ボタンをクリックします (図2)。

これで指定したアドウェアなどを隔離して動作できない状態にしてくれます。ただし、プログラムによってはアドウェアを動作させることが利用条件に含まれている場合もありますので注意してください。

(編集部)

[URL04](http://www.lavasoft.de/) http://www.lavasoft.de/

[URL05](http://www.pestpatrol.jp/) http://www.pestpatrol.jp/

[URL06](http://www.lavasoft.de/support/download/)

http://www.lavasoft.de/support/download/

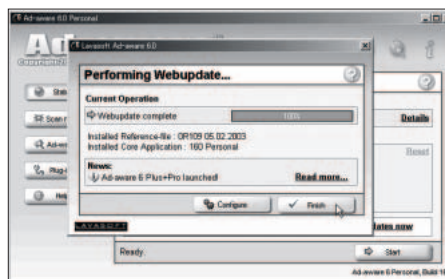


図1 ウイルスパターンファイルを更新するのと同じように、最新の定義ファイルをインターネットからダウンロードできる。



図2 有名なアドウェアCydoorやIEの動作を変えるプログラムCnsmnが見つかった。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)